

NEWS RELEASE

環境に対する取り組みに優れた「Aリスト企業」に選定 4年連続でCDPから「ウォーター」分野で最高評価を獲得

三菱電機株式会社は、国際的な非政府組織 CDP から、事業を通じた地球環境への対応と戦略が特に優れ、また、環境に関する適時適切な情報公開を行っている企業として、「ウォーター」の分野において最高評価の「Aリスト企業」に4年連続で選定されましたのでお知らせします。



三菱電機グループの環境への取り組み

当社グループは、「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性保全への対応」を柱とする「環境ビジョン 2021」のもと、環境経営基盤の強化に努めています。また、2019年6月には2050年を見据えた「環境ビジョン 2050[※]」を策定し、「大気、大地、水を守り、心と技術で未来へつなぐ」ことを宣言しました。今後もバリューチェーン全体の環境負荷低減、製品・システムの省エネ化や社会インフラの構築を通じて、持続可能な未来の実現に貢献してまいります。

※ 2019年6月13日広報発表 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2019/0613-a.html>

三菱電機グループの「ウォーター」分野での取り組み

- ・国内外の製造拠点における水使用量・排出量の管理徹底
- ・節水・再利用による水使用量の削減・有効利用の推進
- ・オゾンなどを活用した浄水技術の開発と、それを用いた水浄化システムの上下水道・工場・公共施設への供給

CDPについて

企業や都市の環境への取り組みを調査・評価・開示する NGO。全世界で 500 以上の機関投資家（運用資産総額 96 兆米ドル）からの支持を受け、「気候変動」「ウォーター」「森林」に関する質問票を企業に送付してその回答を収集し、最高評価の「A」から「D-」までの 8 段階で評価します。2019 年は全世界で 8,400 社を超える企業が回答しました。

なお、当社は 2019 年の「気候変動」においても「A」に次ぐ「A-」（リーダーシップレベル）の評価を受けています。